



<目指すべきまちづくり>

- 新潟を象徴する空間デザイン
- 人が憩い・集う広場の空間・動線整備



<万代広場整備の基本的な考え方>

1. コンペ最優秀賞受賞作品の基本コンセプトは尊重し、継承する。
2. 高架下交通広場及び接続するバス進入路は現計画とする。
3. 歩行者動線計画は、駅と万代方向のスムーズな動線を確保する。
4. 周辺の民間建築物更新との連携を考慮し、
将来的なペDESTリアンデッキの可能性は排除しない。
5. 新潟を象徴する空間デザインの演出方法を具体化する。

1. 駅前広場利用状況は。
2. 歩行者動線の現況は。
3. 新潟駅周辺の自転車利用状況は。
4. 南口中央広場の利用状況は。
5. 新潟駅周辺の低未利用地の状況は。
6. 駅舎(万代広場)から東大通の眺望は。
7. 南北ペDESTリアンデッキの検討経緯は。
8. 新潟駅の南北を結ぶ地下施設の検討経緯は。
9. 現計画のイメージは。

⇒資料2

平成26年度万代広場基本計画策定時に、南北デッキの見直しを行い、社会情勢の変化を見ながら整備のあり方を検討することとし、計画図には示さないこととしました。
そして、平成28年度から東西デッキの見直しを行っているところです。

第2回委員会で議論いただく内容

⇒資料3

1. 駅からまちへの歩行者動線の考え方について
 - ・駅⇔万代地区、駅⇔万代島の歩行者動線を意識した広場計画
2. 駅前広場における交通機能、施設配置等について
 - ・南北駅前広場の役割分担や位置付け
 - ・送迎車・タクシーの動線、円滑な交通処理
3. 東大通の望ましい道路空間の構成について
 - ・新潟の顔として、来街者をおでむかえする道路として、万代広場と連続性を持った、歩きたくなる道路空間となるための方策